



第22回 津田左右吉賞の結果について

平成18年11月11日

津田左右吉博士は「子供たちのために」と言って、自分の著書などを下米田小・中学校に贈りつけていました。これが下米田小学校に残る「津田文庫」です。博士の没後は、津ね夫人が同校へ多額の寄付金を贈られました。その厚志により博士の文庫を製作し、卒業生に「津田賞」として贈っています。現在は、このような事業を顕彰会が引き継いでいます。

また、「あなたの夢」・「津田左右吉博士」をテーマに作文募集を毎年行っており、その授賞式及び作文発表会・記念講演会が津田左右吉博士記念館（美濃加茂市下米田町）で開催されました。

文発表会・記念講演会が津田左右吉博士記念館（美濃加茂市下米田町）で開催されました。

今回の作文応募数は六百八十六点、参加学校数は岐阜県内の小学校から三十四校となりました。授賞式終了後には、赤座憲久さん（児童文学作家）による記念講演会「あなたの夢、わたしの夢」が開催されました。

赤座さんは、戦後の児童文学において、戦争の悲惨さや平和への願いを一貫して訴え続けてきました。また、岐阜の児童文学の活性化にも貢献され、その著作は百冊を数えます。数多くの著作の中には、津田左右吉博士の伝記もあります。

赤座さんは、受賞者のみなさんの作品を絶賛され、「これから人生が広がっていくみなさん、ぜひ夢を突き進めてほしい」とエールを贈られました。そして、ご自身のご活動や、そのことと幼い頃からの夢や生き方などについて、お話しされました。



赤座憲久さんのお話

No.23

平成19年(2007)3月31日
編集・発行
津田左右吉博士顕彰会
美濃加茂市蜂屋町上蜂屋3299-1
TEL 0574-28-1110



「現代にみる「津田左右吉」」

没後50年ほど経った現在においても、津田博士の遺した業績は非常に注目されています。特に、古事記や日本書紀の研究に関する内容のものには、津田博士の研究成果を取り上げているものが多くあります。一般書店でも多く販売されているので、ぜひご覧ください。

<主な図書>

工藤雅樹『東北考古学・古代史学史』吉川弘文館 1998年
大山誠一『<聖徳太子>の誕生』吉川弘文館 1999年
永原慶二『20世紀日本の歴史学』吉川弘文館 2003年
集英社新書『文学館のある旅103』集英社 2004年
岩波ジュニア新書517『近代社会と格闘した思想家たち』岩波書店 2005年
福田敏一『方法としての考古学～近代における認識～』雄山閣 2005年
今井修編『津田左右吉歴史論集』岩波書店 2006年

ほか

<展覧会>

「津田左右吉—その人と時代—」展の開催(2004年2~3月)
(みのかも文化の森/美濃加茂市民ミュージアム:美濃加茂市)
「郷土に輝く先人—津田左右吉—パネル展」の開催(2006年1~3月)
(県民ふれあい会館生涯学習センター-展示ホール:岐阜市)



第二十二回津田左右吉賞

〈小学生の部〉

最優秀賞

渡辺 英(美濃加茂市立伊深小5年)
「ぼくの夢」

優秀賞

加納伊織(美濃加茂市立蜂屋小6年)
「ぼくの将来の夢」
土岐佳美(美濃加茂市立下米田小6年)
「わたしの夢」

佳作

安藤 初(瑞浪市立瑞浪小5年)
「変わらない一つの夢」
渡邊真由(美濃加茂市立太田小5年)
「私の夢」
堀部聡宏(美濃加茂市立蜂屋小6年)
「ぼくのゆめ」
西村姿吹(美濃加茂市立加茂野小6年)
「私の夢」

〈中学生の部〉

最優秀賞

市原尚己(美濃加茂市立三和小6年)
「福祉士をめざして」
足立佳穂(美濃加茂市立西中1年)
「人はなぜ学び続けるのか」

優秀賞

桐生 真(岐阜市立藍川東中2年)
「僕が僕らしくあるということ」
梅田奈実(御嵩町立向陽中1年)
「私の夢」

佳作

森友里菜(海津市立日新中1年)
「今だからこそ」
飯塚達也(可児市立西可児中3年)
「自分自身の夢」
水野友貴(多治見市立陶都中3年)
「今までの自分、そしてこれからの自分」



おめでとうございます

平成18年度の活動等

月	内 容
4月	津田記念館管理委託契約(顕彰会・シルバー人材センター：4/1～3/31) 各週水、土曜日にさくらの会(代表 中田光子氏)の活動を記念館にて継続して開催。 春の特別イベント「日本の伝統にふれる」を開催(津田記念館/さくらの会)(4/2) 記念館で行われている各講座の受講生による、いけ花作品展、茶の湯に加え、琴や尺八の演奏会が催された。
5月	津田左右吉博士顕彰会役員会、理事会を開催(5/22)
7月	よなだっこ広場「トールペイント・折り紙あそび」開催(さくらの会)(7/15) 第22回津田左右吉賞案内を市内及び県内小・中学生及び県内関係機関へ発送(7/21～9/8)
8月	夏の特別イベント「夏休みお楽しみ会」(津田記念館/さくらの会)(8/26) 「ふしぎな手品ショー」 「みんなで挑戦!～ミニゲーム大会～」 「バルーンアニマルづくり」
9月	「第22回 津田左右吉賞」作文コンクール審査委員会開催。受賞者を決定(9/29)
10月	岐阜新聞素描欄にて津田左右吉博士顕彰会の諸活動について掲載(10/3)
11月	「第22回 津田左右吉賞 表彰式・作文発表会/記念講演会」(津田記念館)(11/11) ・小学校5・6年生の部、中学生の部、計16名が授賞 ・記念講演会「あなたの夢、わたしの夢」講師 赤座憲久氏(児童文学作家) 岐阜新聞、中日新聞に「第22回 津田左右吉賞 表彰式」の結果が掲載(11/14) 「クリスマスのリースづくり」(津田記念館/さくらの会)(11/18)
2月	冬の特別イベント「百人一首大会」開催(津田記念館)(2/13) 中日新聞に「百人一首大会」の様子が掲載(2/28)
3月	下米田小学校卒業式において、卒業生全員に記念品贈呈(津田左右吉博士文鎮、図書「歴史学者津田左右吉」)を贈呈(3/23)

～津田記念館 活動風景～



日本の伝統にふれる(2006・4・2)



夏休みお楽しみ会(2006・8・26)



百人一首大会(2007・2・13)